



NIPPON SCOUT JAMBOREE INFORMATION

第2号

第19回日本スカウトジャンボリー
ジャンボリーインフォメーション
2025年11月26日発行

ジャンボリー インフォメーション とは

各県連盟の派遣団や参加予定者を対象に、大会参加に向けた準備に必要な情報を探すことを目的として発行します。大会までに数回の発行を予定し、毎号、最新の情報を提供していきます！大会のウェブサイトなどで公開しますので、大会への準備に活用してください。

■参加申込 ····· 1

予定申込・確定申込
交替参加

■大会運営スタッフ ··· 2

■輸送 ····· 3

■サブキャンプライフ ··· 4

サイトでの生活
サブキャンプの設備

■配給と献立 ····· 6

派遣隊の食事・食材配給
本部食堂
アレルギー対応

■プログラム情報 ····· 7

モジュールプログラム
地域プログラム

■大会テーマソング ··· 8

■コミュニケーション ··· 9

■会場マップ ····· 9

■神石高原町 ····· 10

参加申込

予定申込締切間近！

皆さん、参加予定申込を済ませましたか？現時点では、多くの県連盟において各団からの申し込みを受け付け、日本連盟の締め切りに向けて集計している頃でしょう。予定申込を忘れてしまった方は、団・地区を通じて県連盟にご相談ください。

大会本部の各部では、皆さんの予定申込をもとに、大会準備を具体的に進めています。

確定申込は4月！

大会の参加者（派遣隊スカウトおよび指導者）・大会運営スタッフ・派遣団本部スタッフは、参加予定申込に続いて、参加確定申込を行うことで正式な参加者登録となります。次の期日までに参加費（予納金を除いた残額）を添えて、申し込み手続きをお願いします。

団から県連盟への申込

2026年4月10日（金）

もしくは、県連盟・地区で定める日まで

県連盟から日本連盟への申込

2026年4月20日（月）

参加予定申込後の参加者の変更や、参加確定申込からの新規申込も可能ですが、派遣隊については、予定申込より大幅な人数の増減が生じる場合には、所属県連盟を通じて日本連盟と調整のうえ、申込手続きを進めてください。

派遣隊

派遣隊 1こ隊あたり40人とし、ボーイスカウト班とベンチャースカウト班で編成し、班数分の指導者を選任してください。

隊長を除く指導者については、2人1組による交替参加が可能です。

大会運営スタッフ

県連盟派遣団本部スタッフ

大会運営スタッフには、ローバースカウト・指導者・スカウトクラブ会員などが参加でき、本大会では県連盟派遣団本部スタッフを含め、約1,600人のスタッフを必要としています。大会運営スタッフは、各県連盟派遣団の派遣隊1こ隊につき、10人以上の推薦をお願いしていますので、ご協力ををお願いします。

大会運営スタッフを希望する方は、今後お知らせするジョブカタログにて各部の主な業務内容や必要な特技・技能・資格などをご確認のうえ、第1希望から第3希望までの部署を選択し、お申し込みください。

なお、やむを得ず全日程参加できない場合には、2人1組による交替参加、または遅参・早退が可能です。参加費は、交替参加の場合は1人あたり40,000円、遅参・早退の場合は参加費の減額はありません。

派遣隊指導者および 大会運営スタッフなどの交替参加

派遣隊指導者（隊長を除く）、大会運営スタッフ（運営委員・専門部会員を除く）・県連盟派遣団本部スタッフ（派遣団長を除く）で、やむを得ず全日程参加ができない場合、大会前半・後半（2人1組）での交替参加（参加費1人あたり40,000円）が可能です。

交替参加にあたっては、入退場時の輸送手段の確保、重複期間の食材の配給や給食、生活サイトの利用を効率よく運営するため、交替参加者の入場・退場日を定め、大会中日の8月7日（金）に業務を引き継ぎます。交替参加は、県連盟派遣団本部による参加人員の割当や輸送計画などにも影響しますので、可否については所属の県連盟にお問い合わせください。

大会運営スタッフ

大会運営スタッフの入退場

入場は、原則として8月2日（日）の正午までに会場に到着し、夕食までに設営を完了することになります。一部の大会運営スタッフ、例えば運営委員や専門部会員の一部、ならびに大会運営スタッフの到着受け入れ等に必要なスタッフは8月1日（土）に入場することになります。

退場は、派遣隊の退場完了後の8月11日（火）の朝から正午までを予定しています。

会期中の会場内では個人の車両は使用できません。大会運営スタッフが乗車してきた車両は、会場外の留め置き駐車場を利用します。駐車台数に限りがありますので、極力乗り合わせのうえ、県連盟を通じた輸送調査による台数把握にご協力ください。

大会運営スタッフの生活

会場内の指定されたエリアで生活をします。食事は、本部食堂での給食（一部携行食の配給）となります。給食と配給は、8月2日（日）夕食から8月11日（火）朝食までとなります。

大会運営スタッフのプログラム

奉仕期間が長くなることから、大会運営スタッフがリフレッシュできる有意義なプログラムを計画しています。詳細は、来年春頃にお知らせする予定です。

県連盟派遣団本部スタッフも「生活」「プログラム」は上記に準じます。

参加区分	参加日程	遅参早退
派遣隊指導者 (隊長を除く)	前半：4泊5日・12食 8月4日(火)夕食～8月8日(土)昼食	不可
	後半：4泊5日・11食 8月6日(木)夕食～8月10日(月)朝食	
大会運営スタッフ (運営委員・専門部会員を除く) 県連盟派遣団本部スタッフ (派遣団長を除く)	前半：6泊7日・18食 8月2日(日)夕食～8月8日(土)昼食	可
	後半：5泊6日・14食 8月6日(木)夕食～8月11日(火)朝食	

【大会運営スタッフの留意事項】

- 奉仕部署によっては、交替参加者に対応できない部署もあります。遅参・早退については、参加日程によっては希望部署に添えない場合があります。
- 交替相手とともに同一部署に申し込むことを原則とします。
- 派遣隊1こ隊あたり10人の大会運営スタッフの割当については、交替参加の場合には2人1組を1人分とします。

大会運営スタッフは、次の10の部署のいずれかに所属して各部の所管業務を担います。

総務部	大会本部の会議、参加者および見学者の受付、外国派遣団、来賓、救護所等に関する事
サブキャンプ部	サブキャンプの運営、派遣隊の生活やプログラム、遺失物・拾得物に関する事
スタッフサービス部	大会運営スタッフの配属、スタッフの生活に関する事
プログラム部	場内外プログラム、信仰奨励、全体行事に関する事
安全・警備部	参加者の安全管理、会場内の警備、大会の危機管理、緊急避難等に関する事
輸送部	会場内および周辺の交通統制、人員や荷物の輸送、駐車場等に関する事
会場運営部	会場利用、施設、設備、資材、器具、ごみ処理、し尿処理等に関する事
配給・食堂部	参加者の食料や炊事用燃料、スタッフへの給食等に関する事
広報部	大会の情報提供、報道、大会記録、スカウト通信員プログラム等に関する事
売店部	売店地域、スカウトショップ等に関する事

輸送

人員輸送について

会場周辺は、国道、県道、町道や農道などの町民生活と密接した一般道路が通っていることから、極力関係車両の通行量を減らし地域住民への影響を最小限に抑える必要があります。

会場にいたる道路に国道182号（概ね片側1車線）があり、山陽自動車道、中国自動車道を利用するいずれの場合でも当該道路を利用するため、集散時にはかなりの車両の集中が予想されます。また各高速道路を利用する場合、国道182号の周辺施設には大型バスを待機させる駐車場はありません。このため、高速道路のサービスエリアにてトイレ休憩などを含め、指定された会場到着時間に合わせて時間調整をする必要があります。

資機材輸送について

人員輸送と同様に地域住民への影響を最小限に道路交通調整をかけていきます。

各派遣隊の資機材の輸送については、会場内にコンテナやJITBOXなどの資材保管場所の確保が難しいことから、バスへの混載、またはトラックなどによる搬入出を予定しています。

派遣隊入場日の前日に資機材を搬入させる場合は、当該県連盟において道路から資材の荷卸し、キャンプサイトまで移動を行います。

または当日、派遣隊の入退場と同時に搬入、搬出することとし、1時間の枠で人員の乗り降りと資機材の積み込み・荷卸しを検討しています。

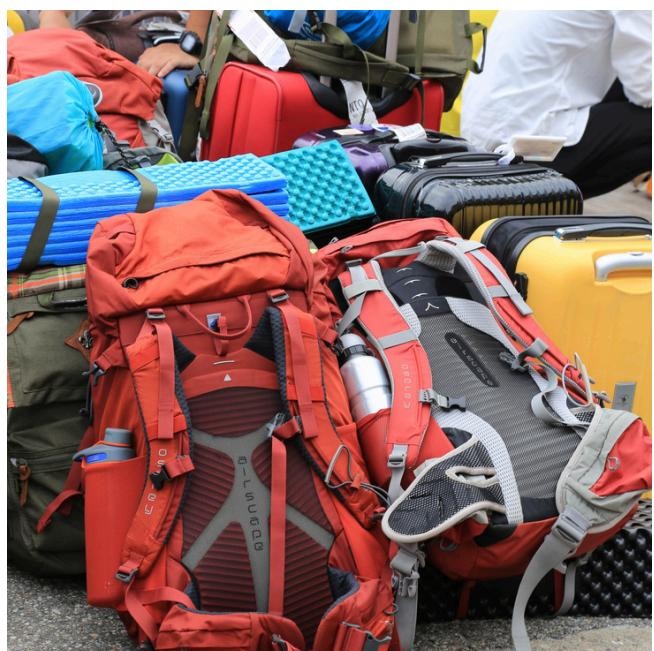
なお、宅配便などの荷物授受はお受けできません。

輸送（駐車場、シャトルバス情報）

留め置き駐車場については、現在、会場周辺に確保するよう神石高原町と調整しています。大会運営スタッフなどの個人利用については、極力乗り合いのうえ台数を減らして受け入れるようにします。

また、大型車が停められる場所は未定ですが、第1次輸送調査にて、希望を把握します。

福山駅から会場までの輸送手段として、シャトルバスの運行または既存の路線バスの増便・延伸の両方をバス事業者と調整しています。



サブキャンプライフ

～仲間とともに暮らし、学び、楽しむジャンボリーの毎日～

今大会では、全国から集まったスカウトたちが、4つのサブキャンプに分かれて生活します。

それぞれのサブキャンプには、開催地である神石のアルファベット頭文字から、JOURNEY（ジャーニー）・NATURE（ネイチャー）・SKYLINE（スカイライン）・KIZUNA（キズナ）の名前をつけ、ロゴマークも決定しました。皆さんには、このうちのいずれかのサブキャンプで1週間を過ごすことになります。

サブキャンプ地域は、ゴルフ場のコースで計画しています。主に草地のフェアウェイ部分をキャンプサイトとして利用して、ティーやバンカー、グリーンなどは立ち入り禁止となります。

長く続く一本道と歩を表現する足跡で構成し、進む道を示すコンパスを配置したデザイン

豊かな森と神石高原町内にある帝釈峡と魚切渓谷の滝のイラストとヤマボウシを配置したデザイン



4つのデザインを組み合わせると、神石高原町の町木「ヤマボウシ」になります。



スカイラインを表現する、街と山のシルエットに広がる空に飛び立つ鳥で構成し、紙飛行機を配置したデザイン



さまざまな想いをもって集まったスカウトをカラフルなパズルで、ネッカチーフの友情結びで絆をそれぞれ表現したデザイン



サイトでの生活

各派遣隊には 1 サイト（約600m²・40人基準）の区画が割り当てられます。

テントを張り、調理や食事、集会を隊ごとに行います。ここがジャンボリー期間中の「自分たちの家」となります。

キャンプサイトのほとんどは、ゴルフコースのフェアウェイで固い土質です。草地のため、直火によるたき火や生活雑排水を土壤浸透させないよう、各派遣隊でかまどや炊事場を工夫して炊事を行ってください。

テントやフライを張る際のペグやピンなどは、撤営時には必ず抜いて、できた穴を必ず元に戻してください。ゴルフボールがはまるような大きな穴を残す、太い杭の使用は禁止します。

サブキャンプの設備

各サブキャンプには、生活を支えるために次のような施設を整備します。

給水・排水設備

水は限られた資源です。節水を心がけて使いましょう。

飲料や炊事などに利用する水は、会場周辺の水道水を分けてもらいます。一人あたり1日7～8リットル、1こ隊40人で1日280～320リットルが使用できる目安です。派遣隊は、各サブキャンプの水汲み場からキャンプサイトへ水を運び使用します。

また、生活雑排水を土壤浸透させないよう、水汲み場に隣接して設置する汚水栓に各隊サイトで排出した生活雑排水を集めて、処理します。

トイレ

快適な生活を保つために大切な場所です。

各サブキャンプには、汲み取り式の仮設トイレを設置します。汲み取り式トイレには不便を感じるかもしれません。生活環境の変化に慣れ、食事や排便など普段のリズムで生活できることが、毎日の健康管理につながります。

また、次に利用する人のことを想い、きれいに利用することや、利用者自身によるこまめな清掃を心がけましょう。

シャワー

排水処理の関係で会場内の2箇所に集中配置します。

各シャワー施設は、男子スカウト、女子スカウト、男性指導者、女性指導者の4つに区分した仮設のシャワー設備と洗面所を設置します。利用者が集中する時間帯には混雑があるので、より多くの参加者が利用できるよう短時間で利用しましょう。シャワーでの忘れ物が多く見受けられます。利用後に、衣類や洗面用具が残っていないか必ず確認しましょう。

シャワーと洗面に利用する水は、飲料水とは別に水源を確保するよう調整していますが、参加者全員が毎日利用するには不足する可能性があります。少ない水で身体を拭くなど、毎日シャワーを利用しなくとも衛生を保てる方法を身に付けましょう。

サブキャンプ広場

交流活動などを行う場所です。



サブキャンプでの一日

起床・朝食・集会・プログラム参加・夕食・就寝といった規則正しい生活を送りながら、仲間と協力して暮らします。

清掃やごみの管理は全員の責任です。「人と地球によりよい未来を」を体現するため、自然環境にやさしい野営ができるように事前に準備して参加しましょう。

出会いと交流

サブキャンプは、各派遣隊のキャンプサイトであると同時に、仲間づくりの場でもあります。

今大会では、サブキャンプにさまざまな県連盟の派遣隊が配属されます。

自分たちの隊の周りには、今まで行ったことのない県や海外からの派遣隊が配属されているかもしれません。

国内外から集まったスカウトと共に活動し、サブキャンププログラム（交流プログラム）や各隊での交流を通じて友情を広げましょう。

今後のご案内

献立や配給、各サブキャンプに配属される県連盟の詳細については、今後のジャンボリーインフォメーションでお知らせします。サブキャンプライフを充実させるための追加情報も、順次お届けしていきます。

配給と献立

派遣隊の食事

派遣隊の食事は野外炊事とし、神石高原町の美味しいお米や地元特産品を使用し、大会本部からサブキャンプ本部を通じて食料の配給を受けます。

配給は朝夕の1日2回行い、朝の配給時に昼食用携行食を配ります。参加者は、携行食を持って各プログラムサイトに移動することで、サブキャンプに戻ることなく午前・午後のプログラムに続けて参加することができます。また、炊事用の燃料は薪を配給します。

食材の配給

食材は、8月4日（火）夕食分から8月10日（月）朝食分までの17食分を配給します。非常食として8月10日（月）朝食の一部を8月4日（火）に配給します。食料の取り扱いについては、特に衛生面に注意を払い、残った食材については食中毒の恐れがあることから、次の食事に持ち越さずに廃棄してください。

派遣隊は、1こ隊40人を基準の量として、サブキャンプで食材を受け取ります。なお、過去のジャンボリーでは、氷の斡旋を行っていましたが、食材の保持、暑さ対策の一環として、一律に配給できるよう調達方法を検討しています。

本部食堂での給食

本部食堂は、8月2日（日）夕食分から8月11日（火）朝食分までの26食分を給食・配給します。大会運営スタッフおよび派遣団本部スタッフは、本部食堂にて給食を受け、昼食の携行食を朝食時に受け取ります。限られたスペースを効率よく運営するため、給食方法や地元特産品の献立などを検討しています。

アレルギー対応について

食品のアレルギーについては、「食品衛生法」で表示義務があるアレルゲン特定原材料の7品目「小麦・卵・乳・エビ・カニ・そば・落花生」を記載します。

アレルギー対策として、上記の7品目については、一部代替食を用意しますが、7品目でも複数のアレルギーがあったり、微量の混入でも発症する場合、また、それ以外の20品目については、個人および派遣隊の方で、代替食を準備していただくことも配慮してください。

献立が決定したら、食材の20品目についても、随時インフォメーション等でお知らせします。

特定原材料（7品目）

小麦・卵・乳・エビ・カニ・そば・落花生

特定原材料に準ずるもの（20品目）

アーモンド・あわび・いか・いくら・オレンジ・カシューナッツ・キウイフルーツ・牛肉・ごま・さけ・さば・大豆・鶏肉・バナナ・豚肉・マカダミアナッツ・もも・やまいも・りんご・ゼラチン



プログラム情報

今大会のプログラムは、緑豊かな山間地域が広がる備後地域の自然環境を取り入れながら、地域に密着したプログラム、また、スカウト運動が「平和」に貢献していることを実感し、「世界平和」に向けた新たな取り組みを考えるプログラムなどを企画しています。

大会のプログラムは、半日単位で参加するモジュールプログラム、日中の余暇の時間や夜間に実施するサブキャンププログラム、すべてのスカウトが参加する地域プログラムで構成します。

モジュールプログラム

モジュールプログラムは、そのねらいにより5つのテーマに基づき、場内の各モジュール（プログラムエリア）で展開します。それぞれのモジュールには、複数のテーマのプログラムを準備しています。モジュールプログラムには、各派遣団からもプログラム提供され、実施します。

テーマ①：競技的プログラム

進級課目と関連させた個人や班の対抗競技により、一つ上の進級を目指すプログラム

例）班旗立て、火起こし、丸太切り など

テーマ②：チャレンジプログラム

新たなことに挑戦し、自身を成長させるプログラム

例）大型構築物、通信や計測技能を使う競技など

テーマ③：知的・体験プログラム

自然や科学、伝統、文化などの体験をとおして将来の進路選択に向けたキャリア形成につなげることができるプログラム

例）企業・団体によるプログラムなど

テーマ④：人権・平和プログラム

人権・平和、多様性・公平性をテーマにさまざまな体験により、SfHやDEIを促進させるプログラム

テーマ⑤：環境・防災プログラム

自然の中で考え・実践していくロールプレイ要素を兼ね備えたプログラム

※SfH : Safe from Harm

DEI : Diversity · Equity · Inclusion

サブキャンププログラム

サブキャンプ内で実施するプログラム

信仰奨励・奉仕活動

隊や班におけるスカウツオウン・サービスを通して、「ちかい」と「おきて」の実践や平和などについて考え、スカウトとして行動を起こします。プログラムエリアには各教宗派によるパビリオンが設置され、日々の信仰活動（礼拝等）を実施したり、自身の信仰と異なる教宗派を知ったりすることができます。



日本一チャレンジ

今回のジャンボリーのプログラムでは、「競技的プログラム」として、火起こしや手旗、班旗立てなどを全国の隊と競い合います。各隊の通常の活動の中で、事前にトレーニングを行い日本一を目指しましょう。

地域プログラム

今大会では、地域とつながることを重要なコンセプトとしており、場外で体験するプログラムを「地域プログラム」と呼びます。

期間中すべてのスカウトが、地域プログラムに参加できるよう準備をしています。

地域プログラムは、次の4つのエリアに分けており、それぞれのエリアには複数のテーマのプログラムを準備しています。

ベンチャースカウトを対象とした地域プログラムでは、一部追加で費用が発生する場合があります。また、事前申込制として、ベンチャー班による企画・計画によるプロジェクトとして取り組むことができるよう計画しています。

次号以降で詳細はご案内いたします。

エリア①：しまなみ

しまなみ海道をエリアとし、瀬戸内海の自然や歴史と向き合う、挑戦的なプログラム

エリア②：せとうち

瀬戸内海に面した尾道・福山・笠岡地域をエリアとし、瀬戸内海の自然保護や地域の歴史を学んで、未来を考えるプログラム

エリア③：神石高原町

神石高原町内をエリアとし、地域で営まれている生活に積極的に関わることで、社会との協同、奉仕の精神を学ぶプログラム

エリア④：中国自然歩道

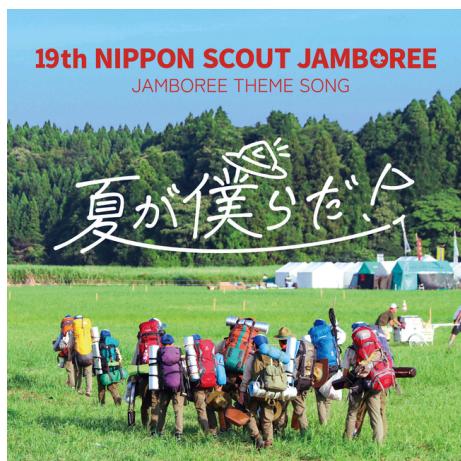
神石高原町北側に広がる中国山地、さらに山陰をエリアとし、大自然に挑み、自らを鍛えていくプログラム

大会テーマソング

大会ウェブサイトを通じてテーマソングを公募したところ、全国のスカウト仲間や一般の方、12人（組）から13作品の応募がありました。そして、19NSJ運営委員会での審査の結果、次の作品を大会テーマソングに決定しました。

選考するにあたり、楽曲としては素晴らしいことはもちろん、隊や班でみんなが歌いやすいこと、伴奏がなくても楽しく歌え、会場で全員が一緒に歌えることなどを選考のポイントとしました。

大会ウェブサイトで楽曲を公開していますので、ジャンボリー本番に向けて、みんなで練習しましょう！



夏が僕らだ！

作詞/作曲/編曲：野村 和也
(東京連盟台東第3団VS隊副長)

1.

めいっぱいの荷物は ちょっと重いけど
たくさん期待と 世界を駆けよう
さあ準備して 信号送ろう
未来に刻むんだ ジャンボリー
Let's Go ! 冒険だ 知らない場所だって
この挑戦は 絆の証

2.

語り継がれた 歴史と友情
集まつた誰もが 永遠の仲間
さあ出発だ コンパスの向こうへ
先陣切って進むんだ ジャンボリー
Let's Go ! 冒険だ 知らない場所だって
この挑戦は 絆の証
太陽は僕らのアツさ
今神石の 夏が僕らだ！

コミュニケーション

大会ウェブサイト

大会特設ウェブサイトを公開しました！

開催まで残り300日を切り、さまざまな情報がどんどん掲載されていきます。今後も会場案内、募集要項、参加にあたってのヒントなど、順次アップデートしていく予定です。定期的にチェックして最新の発表をお見逃しなく！

<https://19nsj.scout.or.jp/>



会場マップ

仙養ヶ原に広がるキャンプ場を含むテーマパーク「神石高原ティアガルテン」と隣接するゴルフ場「カントリーパーク仙養」とその周辺を会場とします。

大会ウェブサイト公開しました！



会場内には「生活エリア（サブキャンプ）」や「プログラムエリア」そして「大会本部エリア」などを配置します。



※会場利用計画は今後変更になる場合があります。

神石高原町

プロモーショングッズの贈呈

大会の開催にあたり、神石高原町から多大なるご支援・ご協力をいただいております。町内での機運を醸成するため、町役場の職員や関係者の皆さんに着用してもらえるよう大会のネックストラップとピンバッジを入江町長へ贈呈いたしました。

ふるさと納税

広島県神石高原町が実施する「ふるさと納税型クラウドファンディング」では、19NSJを応援するプロジェクトを設けていただいております。

皆さまからのご寄付は、「大会プログラム」「町内児童とスカウトの交流」「景観の整備や道路改良」などに活用されます。

神石高原 ふるさと納税 ジャンボリー



チャリティーゴルフコンペ

大会会場となるゴルフ場「カントリーパーク仙養」にて、ゴルフコンペが開催されることとなりました。コンペの参加費の一部は大会の運営資金となりますので、会場視察も兼ねて全国の指導者の皆さまはぜひご参加ください。

期間：2025年12月1日～2026年5月31日

(1月・2月は積雪の可能性があるため中止)

電話またはメールで「カントリーパーク仙養」にお問い合わせください。

電話：0847-89-0022

メール：info@senyo-gahara.com



ジャンボリーインフォメーション第3号は2026年1月頃に発行する予定です。

第3号への掲載予定内容：救護体制、健康管理、見学者情報、サブキャンプライフ、プログラムや全体行事、薪割りの注意、リスニングイヤー（カウンセリング）、配給と献立など

お問い合わせ

大会全般については、ボーイスカウト日本連盟事務局までお問い合わせください。

大会への参加に関するお問い合わせは、所属の県連盟事務局までご連絡ください。

なお、神石高原町役場や関連施設へ直接のお問い合わせはご遠慮ください。



公益財団法人
ボーイスカウト日本連盟
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
Tel: 03-6913-6262